



▶ 主な内容 P1-P3…花火を支える皆さんにインタビュー P4…8月の相談日程、しあわせ仕掛け人、教養講座「観音菩薩像のはなし」

Interview インタビュー



名張川納涼花火大会実行委員会
名張商工会議所
かわきた みちのち
川北 道治さん

昭和5年の参宮急行電鉄(現近鉄)の開通を記念して、その翌年から始まった「名張川納涼花火大会」。戦争で5年中断されましたが、これ以降とぎれることなく実施。現在は、わたしたち商工会

議所のほか、市観光協会、市などが実行委員会を組織し、運営しています。
この伝統ある花火大会をみんなを守り続け、名張の元気を市内外に発信していきたいと考えていま

す。ただ花火を打ち上げるだけでなく毎回テーマを設け、花火のいろいろな楽しみ方を提案しています。今年の花火のテーマは「響」です。山間で打ち上げられる花火の音の響きをお楽しみください。きっと皆さんの心に響くはずですよ。
近年は、景気悪化により、全国各地で企業協賛が集まらず花火大会の中止・縮小が相次いでいます。企業の皆さんに花火大会への協賛をお願いし、なんとか協力をいただけるように取り組んでいます。また、市民の皆さんにも協賛いただくような仕組みを設け、花火大会の費用に充てています。今

花火大会を応援しよう!

- ◆市民協賛募金箱を市役所1階ロビー、(社)名張市観光協会(産業振興センターアスパ/南町)に7月23日迄まで設置しています。
- ◆有料観覧席販売中(1,000円/席)
※7月10日田から販売開始しています。
- 詳しくは、(社)名張市観光協会(☎63-9087)へ

名張川納涼花火大会協賛金の推移

	企業協賛金	市民協賛金
平成18年	9,653,000円	708,200円
平成19年	10,916,000円	1,176,700円
平成20年	10,286,895円	890,500円
平成21年	10,475,400円	865,082円

市民協賛金には、駐車場協力金(平成18年~)、映画協賛金(平成19年)有料観覧席代金(平成18年~21年※)を含みます。
※平成21年は、協賛金2,000円につき1席を用意しました。

伝統ある花火大会を守り、名張の元気を発信したい!



名張の花火
熱き思い
を支える

昭和6年に始まった「名張川納涼花火大会」。今年は7月24日田に開催します。
毎年、この花火大会を楽しみにしている人は多いのではないのでしょうか。しかし、この花火大会を支える人たちがたくさんいることはありません。
今号では、名張の花火を支える皆さんに、花火大会にかける熱い思いを伺いました。

☎商工観光室 ☎63・7648

◎2ページへ続く

-Interview インタビュー-

脇坂火薬(株)4代目 花火師

脇坂 高久さん



花火は遊び心。夢を与えたい!

「名張川納涼花火大会」の打ち上げは、花火大会の始まった昭和6年、初代のときからさせていたでいています。

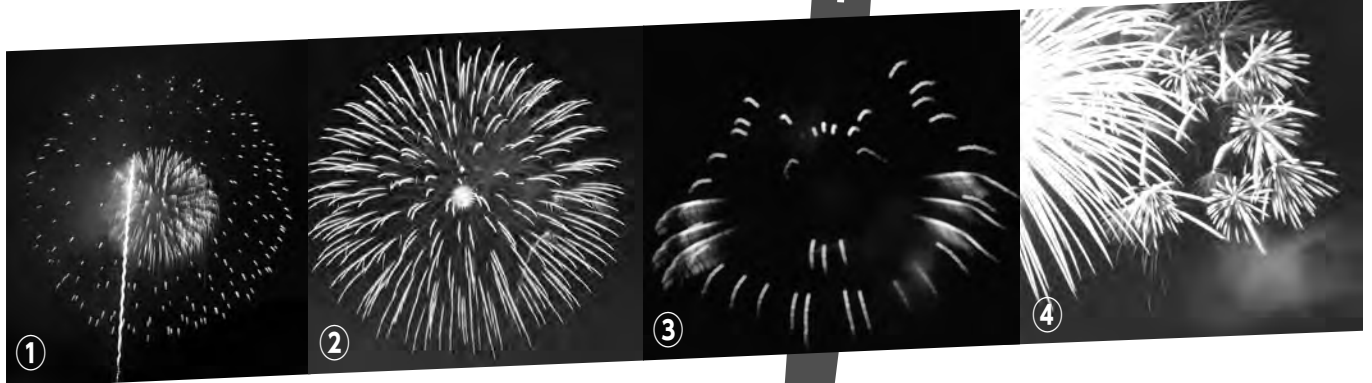
花火は遊び心が大切。花火を見て子どものような心になって帰っていただきたい。また、沈んだ心の人には、夢を与えられるような花火を打ち上げたい。そんな思いで、前年よりもすばらしいものになるように、創意工夫で、新しく、変化のある花火大会を心掛けています。

花火大会で使用できる花火玉の大きさは、県で定める保安距離(打ち上げ場所から観客や、建物までの定められた距離)によって決められています。全国でも珍しく、市街地で打ち上げる「名張川納涼花火大会」では8号玉(開いた時直径280メートル)まで打ち上げることができ、迫力を感じていただけます。

次に花火の種類ですが、当社で

全ての花火を作っているわけではありません。全国にある協力会社との協力体制で全国各地で作られる花火の打ち上げが可能です。実は、花火の打ち上げが可能な、秋田県の大曲で開催された全国花火競技大会創造花火の部で優勝した「えっ!アフロでマンボ!?」という名前の花火の打ち上げを予定していますのでぜひご期待ください。

打ち上げるときに気をつけていることは、花火を見る人に満足いただき、心に残るような構成にすることです。花火と花火の間隔が長いと感ずることはありませんか。これは、会場で、煙がたちこめたりすることにより「煙待ち」をしているためです。特に湿度が高いと煙がよく出るんです。また、立ち入り禁止区域に入ってくる人があり、安全のため打ち上げを一時中断したということもありました。安全な打ち上げにご協力お願いします。



熱き思い 名張の花火を支える

花火巨知識

一口に花火といっても、いろいろな種類、分類があります。大まかに「割物」「ボカ物」「半割物」の三つに分類されます。

「割物」は、中心に破弾薬があり球状に開くものです。尾を引かないものを「牡丹」(写真①)と呼び、流れ星のように尾を引くものを「菊」(写真②)と呼びます。

また、割物で2重、3重に同心円を作るものがあり、2重を「芯物」3重を「八重芯」、4重を「三重芯」といいます。

ほかに形を描き出す花火「型物」(写真③)などがあります。

「ボカ物」は、上空で玉がボカッと2つに割れて内容物を放出します。(柳など)

「半割物」は、割物とボカ物の中間の機能で小さな玉(小花)をたくさん詰めて開かせるものです。(写真④)

脇坂さんに聞きました! 花火の見方

花火の美しさに感動していただくのはもちろん、次のような花火を見るポイントがあるんです!

玉の座り…打ち上げられた玉が、昇り切ったときに花を開くのがよいといわれます。「玉の座りが良い」といいます。

盆…星(色や光を出す火薬の玉)が飛び散って作る球状を盆といい、それが完全な円形であることがよいといわれます。

肩…星が放射線上にまっすぐ飛ぶのがよいといわれます。「肩のはりがよい」といいます。

消え口…星は一斉に開き、変化し、パッと消えるのがよいといわれます。「消え口が揃う」といいます。

「大会プログラム」は、7月23日(金)に新聞折り込みされます。交通規制や立ち入り禁止区域についてもご確認ください。観光協会ホームページ (<http://www.e-net.or.jp/user/n-kankou/>) でも確認できます。

Interview **インタビュー**



火祭りで花火大会を盛り上げたい！

新町区長 **辻本 武久**さん

祭礼日と花火大会は別の日となりましたが、昭和48年に復活した「愛宕の火祭り」は、花火大会と同じに行い、花火の開始の合図にもなっています。みこしを先頭に川の中央に松明がさしかかったときに新町区奉納仕掛け花火が点火され、川面に松明のあかりが浮かび上がるところ、また樽太鼓で松明を迎えるところが見どころです。「愛宕の火祭り」で花火を盛り上げますので、ぜひご覧ください。

平成19年に、「名張川納涼花火大会」は、24日以降の土曜日開催になりましたが、実行委員会からは平成16年から土曜日に開催したいという要請を受けていました。新町区では、愛宕神社の祭礼日と花火大会の切り離しについて、伝統を守っていききたいという思いもあつたため、3年間話し合い、観客の増加により花火大会が盛り上がることで、旧町の活性化につながることを期待するとともに、次の日が休みとなることから運営スタッフやボランティアの人も参加しやすいのではと土曜日開催に同意しました。

新町区では毎年愛宕神社の祭礼日である7月24日に花火大会を開催してきたことから親しみを込めて「名張川納涼花火大会」を「愛宕の火火」と呼んでいます。



名張川を渡る「愛宕の火祭り」

事故やけがない花火大会にしたい！

名張市生活安全推進協議会 防犯部会 部会長 **西本 彰文**さん

また、交通規制は、花火終了後も安全確認などのためにすぐには解除されません。周辺道路も大変混雑しますので、会場へは徒歩か公共交通機関をご利用ください。

このパトロールは、わたしが防犯委員になった昭和50年には、すでに行われていました。当時は、防犯と書いたちょうちゃんを持ち、交通安全、雑踏警備が主な目的でした。現在は、青少年の非行防止も目的の一つとし、会場周辺だけでなく、大型スーパーなどのパトロールも行っています。

花火大会が事故やけがなく安全に実施されるよう、生活安全推進協議会委員(防犯部会)の約60人が6班に分かれ本部と連絡をとりながらパトロールを実施しています。



花火の記憶とともに、ごみの持ち帰りを！

名張中央ロータリークラブ 社会奉仕・環境保全委員会 委員長 **石原 博志**さん



「持って来たもの、買ったものは持って帰る」を徹底していただき、楽しい花火の記憶と一緒に、ごみも持ち帰ってほしいですね。

花火大会の翌日は、約15年前から会場周辺のごみ拾いを行っています。これは、地元への奉仕と、花火大会がいつまでも続いてほしいという願いで行っています。初めて参加したときは「こんなにもごみがあるのか」と驚いたのを覚えています。年々ごみの量は減ってきていますが、それでも昨年、清掃ボランティア全体で1,26トンのごみを回収しました。「わたしがらいい、これぐらいいいやろ」の考えが1トン以上のごみとなっています。



花火大会翌日の清掃の様子

花火大会翌日の清掃ボランティアに参加しませんか？ 愛宕神社に午前6時集合。軍手をお持ちください。

次号予告
平成22年度施政方針と予算

8月の相談日程

☎は、問い合わせ先電話番号
※開催場所の連絡先とは限りません。

市民相談 [平日 午前8:30~午後5:15] ・市役所1階総合窓口センター	
弁護士相談 [8月12日(金) 午前10:00~午後3:00] ・市役所1階総合窓口センター	
交通事故相談 [8月19日(金) 午後1:00~3:15]	申込受付は、7月20日(金)午前8時30分から。先着順。総合窓口センター ☎63-7416)へ
行政相談 [8月19日(金) 午後1:00~3:00]	
司法書士相談 [8月20日(土) 午後1:00~4:00]	
人権相談 [8月10日(金) 午後1:30~4:00] ・名張市人権センター ☎63-7909	
育児相談 [火曜日~土曜日 午前9:30~午後5:00(日・月曜日、祝日は休館)] ・子ども支援センターかがやき(桔梗が丘西3) ☎67-0250	
介護相談 各地区の「まちの保健室」へ ・名張 ☎63-5699・箕曲 ☎63-1073 ・蔵持 ☎63-6371・梅が丘 ☎61-3770・藤原 ☎63-6400・桔梗が丘 ☎65-1299 ・比奈知 ☎68-1278・美旗 ☎65-5800・錦生 ☎63-2571・百合が丘 ☎64-8600 ・すずらん台 ☎68-5700・つつじが丘 ☎68-7800・赤目 ☎63-1381・国津 ☎69-1718	
女性相談 [第1・3週木・金・土曜日 午後2:00~7:00] ・男女共同参画センター ☎63-5336	
[第2・4週水・木・金曜日 午後2:00~7:00]	
女性弁護士による法律相談 [8月6日(金) 午後1:00~5:00] ※要予約 ※8月休館日	
男性のための相談 [8月12日(金) 午後7:00~9:00]	2日、9日、16日、23日、30日 ※すべて月曜日
メンタルヘルス相談 [8月19日(金) 午前10:00~正午]	
※要予約 [8月24日(金) 午後1:00~5:00]	
チャレンジ支援相談 [8月3日(金)・17日(金) 午前10:00~正午 午後1:00~4:00]	
おしごと三重出張相談 [第1・3水曜日 午前10:00~午後4:00] ・男女共同参画センター	
ニート相談 [8月10日(金) 午後2:00~6:00] ☎63-7648	
(いが若者サポートステーション) [8月24日(金) 午後2:00~6:00] ・勤労者福祉会館	
ニート相談 (神須学園生館) [8月28日(金) 午後2:00~5:00] ☎63-7648	
女性相談 [平日 午前8:30~午後5:00] ※DV相談	・ふれあい相談室
家庭児童相談 [平日 午前8:30~午後5:00]	☎63-2515
子ども相談 [平日 午前8:30~午後5:15] ・ふれあい相談室 ☎63-3118	
パート職業相談 [平日 午前8:30~午後5:15] ・ふれあい ☎63-0900	
教育相談(不登校相談) [平日 午前8:30~午後5:00] ・桜ヶ丘・旧市民会館内 ☎63-7830	
教育よろず相談(いじめなど) [平日 午前9:00~午後6:00] ・名張教育会館みくろ ☎68-8802	
青少年悩み相談 [平日 午前9:00~午後5:00] ・青少年補導センター ☎63-7867	
母子家庭相談 [平日(水曜日を除く) 午前9:00~午後4:00] ・子育て支援室 ☎63-7594	
年金相談 [毎月第2・4水曜日※祝日を除く 午前10:00~午後2:45] ・アスピア(南町) ☎63-0080	
食生活・健康相談 [8月3日(金) 午前9:00~11:00] ・保健センター ☎63-6970	
乳幼児健康相談 [8月4日(金) 午前9:30~11:00(受付)] ・保健センター ☎63-6970	
がん・難病相談 [8月21日(金) 午後1:00~4:00] ・勤労者福祉会館 ☎63-5515	

名張市「新しい公」委託事業

他人ごとじゃない 少子高齢化を生きる課題解決セミナー

元気なまちづくりの極意伝授します

日時 7月25日(日) 午後1時30分~3時30分
 場所 市民情報交流センター(希中央)
 内容 「都市縮小の中で生きる」(第1回)
 対象 地域づくり、市民活動に携わっている人や関心のある人
 定員 50人 ※先着順
 申込 7月24日(土)までに電話かファクス(63-4314)で問い合わせ先へ
 ※定員に達していなければ、当日参加可。参加無料
 実施団体: 特定非営利活動法人 なばりNPOセンター ☎64-0051

教養講座「観音菩薩像のはなし」を開催

☎ 生涯学習室 ☎63-7892

日時 8月8日(日) 午後2時~3時30分
 場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
 講師 井上一稔さん(同志社大学文学部文化史学科教授)
 定員 100人 ※先着順
 申込 8月6日(金)までに氏名、連絡先を電話かファクス(63-9848)で問い合わせ先へ
 ※定員に達していなければ、当日参加可。参加無料



国民健康保険高齢受給者証をお持ちの皆さんへ

☎ 保険年金室 ☎63-7445

高齢受給者証は、7月31日で有効期限が切れます。それまでに負担割合の見直しを行い、新しい高齢受給者証を郵送します。
 1割負担で受診いただける人には、「一部負担金の割合」の欄に「2割:ただし、平成23年3月31日まで1割(注)」、3割の人には「3割」と書かれた高齢受給者証をお送りします。
 ※国民健康保険以外の人は、加入の健康保険組合などにご確認ください。
 (注)平成22年4月から窓口負担が2割に引き上げられることになっていましたが、この改正が平成23年3月まで引き続き据え置かれます。

川遊びは危険と隣り合わせ

☎ 木津川上流河川事務所 ☎63-1611

- ▼子どもだけの川遊びは危険です。大人は目を離さないように!
- ▼天候の変化に注意! 上流での雨やダムの放流などで急に水位が上がることも…
- ▼突然深くなっていたり、思ったより流れが強かったりする場合もあるので注意!
- ▼飲酒後や体調が悪いときは川に入らない!
- ▼釣りなどをするときにはライフジャケットの着用を!
- ◆川の水位情報・雨量情報・気象情報
<http://www.kizujyo.go.jp/mobile/>
 右のQRコードで上記ホームページアドレスを読み取れます。



しあわせ仕掛け人

みんなで創ろう!心ふれあう"地域福祉"

☎ 健康福祉政策室 ☎63-7579

おいしいカレーと楽しい仲間に出会える 北サロンカレー亭

藤原 繁子さん(つつじが丘北)

つつじが丘・春日丘地区社協では、つつじが丘北集会所で偶数月の第3木曜日に「北サロンカレー亭」を開催しています。「高齢者だけの家庭では、カレーを作る機会が少ないのでは」と思ったことをきっかけに、地域の高齢者が集う場として、カレーの昼食会を発案した藤原さん。「毎回カレー作りと決まっているのでサロンの支援者に活動してもらいやすいんですよ」。参加者にも「カレーを食べるまでのおしゃべりも楽しい」など好評で、外出のきっかけになっているようです。

参加費100円とお皿、スプーンを持参すれば、つつじが丘・春日丘地区の高齢者ならだれでも参加できます。



国津の杜の行事

☎ はぐみ工房あらさぎ ☎62-6920

陶芸教室 サラダボールを作ろう! 暑い夏には手作りサラダボールに夏野菜!
 日時 7月25日(日) 午前10時~正午
 講師 角谷 真人さん
 定員 10人 参加費 2,200円
 持ち物 汚れても良い服装

体操教室 リラックス系ソフトエアロビクス
 日時 7月27日(火) 午前10時~11時30分
 講師 要 晴香さん
 定員 15人 参加費 500円
 持ち物 体操のできる服装、靴、タオル、バスタオル(敷物)、飲み物

申込 7月12日(金)から20日(木)までに電話で問い合わせ先へ
 ※先着順。定員に満たない場合は中止にすることがあります。

臨時職員募集 募集職種 ヘルパー(2級以上)または介護福祉士 募集予定人数 若干名
 応募期限 7月23日(金) ※詳しくは、介護老人保健施設「ゆりの里」(☎61-1155)へ

【まちかど掲示板】自然農法セミナー 病害虫の考え方と対策(各論) 日時 7月17日(土)午後2時~4時 場所 武道交流館いきいき(蔵持町里)
 講師 板坂 康行さん(MOA自然農法文化事業団普及会員) 参加費 300円 ※申込不要 ☎食と健康を考える会 ☎64-6332(中嶋/午後6時以降)